



2022年5月13日

各位

会社名 ダイトウボウ株式会社
代表者名 取締役社長 山内 一裕
(コード: 3202 東証スタンダード・名証プレミア)
問合せ先 取締役常務執行役員 三枝 章吾
経営管理本部長
(TEL 03-6262-6557)

繰延税金資産の取崩しおよび業績予想と実績との差異に関するお知らせ

当社は、2022年3月期決算において繰延税金資産を取崩し、法人税等調整額を計上することおよび2022年3月期通期(2021年4月1日~2022年3月31日)の連結の業績予想と実績との差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 繰延税金資産の取崩しについて

保守的な観点から今後の新型コロナウイルス感染症下での業績下振れリスク等を勘案し、将来における繰延税金資産の回収可能性について検討した結果、2022年3月期決算において、繰延税金資産を取崩し、法人税等調整額40百万円を計上することといたしました。

2. 業績予想と実績との差異

(1) 2022年3月期通期連結業績予想と実績との差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	4,800	350	160	190	6.36
今回実績 (B)	4,502	247	86	42	1.43
増減額 (B-A)	△298	△103	△74	△148	
増減率 (%)	△6.2	△29.2	△46.2	△77.5	
前期実績 (2021年3月期)	4,617	253	21	97	3.26

(2) 差異の理由

売上高につきましては、中国市場での子会社における販売が計画を上回りましたものの、事業規模の大きい国内市場における新型コロナウイルス感染症のいわゆる第5波の影響に加え、2022年1月下旬から急拡大した第6波の影響が想定を上回ったことが響き、前回予想を下回りました。損益面では、前回予想の相当部分を占める商業施設事業で新型コロナウイルス感染症の影響による営業時間短縮措置や来館数の伸び悩みが響き営業利益、経常利益の各段階で前回予想を下回りました。

加えて、「1. 繰延税金資産の取崩しについて」に記載のとおり繰延税金資産を取崩したことに伴い、法人税等調整額40百万円を計上しました結果、親会社株主に帰属する当期純利益は前回予想を下回りました。

以上